

議事概要

藤沢市政策会議を次のとおり開催した。

会議名	令和5年度第10回政策会議
開催日	2023年(令和5年)10月11日(水) 8:29~8:48
場 所	本庁舎6階 庁議室
出席者	鈴木市長、和田副市長、宮治副市長、岩本教育長 (政策会議委員) 総務部長、企画政策部長、財務部長、防災安全部長、市民自治部長、生涯学習部長、福祉部長、健康医療部長、保健所長、子ども青少年部長、環境部長、経済部長、計画建築部長、都市整備部長、道路河川部長、下水道部長(欠席)、市民病院事務局長、消防局長、教育部長、議会事務局長、監査事務局長、選挙管理委員会事務局長、農業委員会事務局長
議 事	(1) 議題(審議事項) 1 令和6年度人事異動基本方針について(総務部) 2 令和5年度12月補正予算編成について(財務部) (2) 報告・情報提供等 ア 市議会からの意見・要望等への対応について(企画政策部) イ 令和6年賀詞交換会の開催について(企画政策部) ウ 第26回ふじさわ環境フェアの開催について(環境部) エ ふじさわ下水道フェア2023の開催について(下水道部)
内 容	1 開会 2 市長あいさつ 3 議事 (1) 議題(審議事項) 1 令和6年度人事異動基本方針について □総務部長から、資料に基づき概要説明が行われた。 《内容》 令和6年度人事異動に向けての基本方針、事務手続きについて報告するもの。 《主な意見等》 ○採用後5年3職場の原則に沿って異動している職員はどれくらいいるか。また、例えば民間経験採用者等で基本的な仕事の能力を身に付けている職員であれば、5年3職場を経験することも意味があると思うが、純粋な新採用職員であれば、5年3職場の異動は仕事のスキルを取得する上で間隔が短すぎるのではないかと。 ⇒運用開始から間もないため、実績はほとんどない状況である。また、採用後5年3職場の異動については、さまざまな意見をいただいている。本人の意向や職場の状況も踏まえた上で、これまでの10年3職場の考え方と並行して運用していきたい。一方、採用活動を行

う中では若いうちにさまざまな職場を経験したいという声を多数いただくのも事実で、そのあたりも踏まえ、総合的に検討していきたい。

⇒ダブルスタンダードということになると思うが、そのあたりを明確にせず進めてしまうと若手職員のキャリアパスが曖昧になってしまうので、検討をよろしくお願いしたい。

《結果》

了承。

2 令和5年度12月補正予算編成について

□財務部長から、資料に基づき概要説明が行われた。

《内容》

令和5年度12月補正予算を編成するにあたり、補正予算編成方針等を報告するもの。

《主な意見等》

なし。

《結果》

了承。

(2) 報告・情報提供等

ア 市議会からの意見・要望等への対応について

□企画政策部長からの概要説明については省略。

《内容》

各部局所管事業に関する市議会からの意見・要望等の内容確認のため、調査表の提出を依頼するとともに、対応の方向性に関する理事者判断が必要なものについては、別途各部局で理事者調整を実施するよう依頼するもの。

《主な意見等》

なし。

イ 令和6年賀詞交換会の開催について

□企画政策部長からの概要説明については省略。

《内容》

新年を迎えるにあたり、市民の健康と幸福を願うとともに本市の発展を期して、藤沢市、藤沢市議会及び藤沢商工会議所の三者で賀詞交換会を開催することについて、情報提供するもの。

《主な意見等》

なし。

ウ 第26回ふじさわ環境フェアの開催について

□環境部長からの概要説明については省略。

《内容》

11月3日(金・祝)に開催する第26回ふじさわ環境フェアについて情報提供するもの。

《主な意見等》

なし。

エ ふじさわ下水道フェア2023の開催について

□下水道部長からの概要説明については省略。

《内容》

10月29日(日)に大清水浄化センターで開催する「ふじさわ下水道フェア2023」について情報提供するもの。

《主な意見等》

なし。

4 その他

○今年度末に職員ポータルシステムが更新を迎えることに伴い、全庁的にパソコン端末の入れ替え等を行う。特に、これまでの指紋認証が全て顔認証に変更になるため、登録の作業をお願いすることになる。詳細は総務主管者会議で説明する。

○10月1日からコンタクトセンターが稼働開始した。応答率は概ね90%以上を確保しているものの、大半は各課等へのエスカレーションが占めている。改善に向けて事業者と調整を行っているところなので、引き続き各課等においてはご協力をお願いしたい。

○人事異動基本方針については、令和6年度は定年延長が初めて行われるなど、少しずつ変化が生まれてくるので意識してほしい。また、12月の補正予算については、国の経済対策として新たな給付が行われるという話もある。人的な対応体制構築も必要になるので、総務部を中心にしっかりと準備してほしい。

○新聞等の報道において、毎日のように自治体の事務ミスが報じられている。発生した事例を参考にして、本市の事務執行に問題がないか改めて検討してほしい。また、理事者で職場巡回を行っているところだが、若手職員からはクレームへの対処に苦慮しているという話を聞く。もちろん、市民第一で対応することは大前提だが、一方で行き過ぎたクレームはカスタマーハラスメントであり、毅然とした対応を行う必要がある。例えば1時間以上同じ電話に対応している職員がいるような場合は、周りの職員がサポートするなど、フォローし合ってほしい。

